

北区きらりと光るものづくり顕彰



平成24年度
受賞企業・技能者概要

東京都北区

平成24年度

北区きらりと光るものづくり顕彰

北区きらりと光るものづくり顕彰とは

北区きらりと光るものづくり顕彰事業は、区内の優れた企業活動・技能・技術などを顕彰し、北区の「ものづくり」の素晴らしさを広く内外にPRすることを目的としています。

受賞一覧

1. きらめき企業部門 5社

エスケー石鹸株式会社

株式会社奥野技術研究所

第一化学工業株式会社

電子磁気工業株式会社

東京セイル株式会社

2. きらめきの技人部門 4名

近藤 志能夫 (近藤美宝)

佐藤 栄作 (第一化学工業株式会社)

白石 雅信 (白石製作所)

遠山 広 (ロワンモニターニュ)

エスケー石鹸株式会社

所在地：東京都北区東十条 1-19-10
電話：03-5390-1935



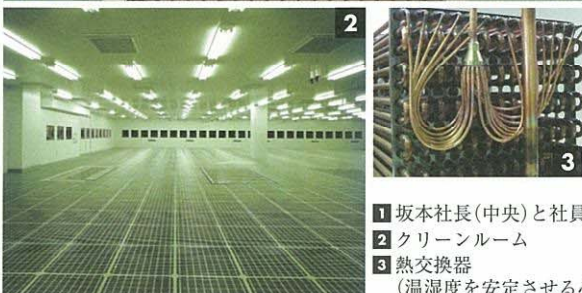
1 倉橋社長(中央)と社員の皆様 2 商品の一部

エスケー石鹸の歩みは、1918年に現在の北区域に創業し粉石鹸の製造と販売を開始した倉橋三平商会から始まりです。当時の一般家庭では固形石鹸がよく使われていましたが、水に溶けやすい性質が評判になり、販売を拡げました。戦後になって公害が社会問題化する最中、「合成洗剤追放運動」が起こり、同社の粉石鹸は再び注目され、生活協同組合へのOEMを始め、固形石けん、液体石けんやシャンプー、歯磨粉などの製造も始めました。

同社は食廃油のリサイクルに取り組み、化粧品グレードのリサイクル石鹸の製造に成功するなど、「環境・安全・安心」をテーマにした自然派石けんメーカーとして注目が集まっています。自社ブランド「うるおいシリーズ」、「しっとりシリーズ」、「すっきりシリーズ」、「キッズシリーズ」、「オーラルケア」などの商品を展開し、環境に配慮した安全・安心な製品として、その品質の良さが高く評価されています。

株式会社奥野技術研究所

所在地：東京都北区志茂 3-16-5
電話：03-3901-3384



1 坂本社長(中央)と社員の皆様
2 クリーンルーム
3 熱交換器
(温湿度を安定させる心臓部)

奥野技術研究所の歩みは、1947年の(財)奥野パルプ紙研究所の設立から始まります。この研究所は大学や官公庁、紙パルプ業界から紙製品やパルプに関わる開発研究や分析試験を依頼されていました。そのなかで恒温恒湿での引張試験法を提案したのを契機に奥野技術研究所が設立されました。

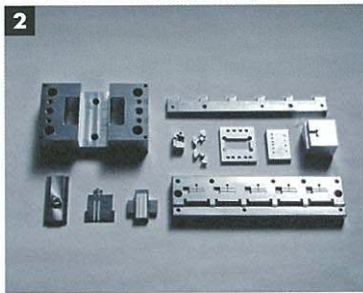
同社はそれまでの試験研究の蓄積を活かして、高性能な環境試験室や恒温恒湿室をつくり続け、大学や試験研究機関、紙や食品業界の開発部門、品質管理部門から高い評価を得ています。特に同社が得意とする露点飽和方式の空調技術は、室内温度と湿度の安定性に優れ、耐久性に富んでいます。他の空調方式に比べ電力消費量が少なく、CO₂の削減効果もあり、環境にも優しい技術です。

同社は技術開発に努め、太陽光発電や蓄電池など、進歩が望まれる分野での分析や開発環境の向上に寄与したいとしています。

第一化学工業株式会社

所在地：東京都北区浮間 5-7-9

電話：03-3966-2476



1 泉社長(中央)と社員の皆様
2 めっき加工
3 スクラバー
(排ガス処理装置)

第一化学工業は、1963年の創業以来、硬質クロムめっき加工を専業としてきました。自動車用ショックアブソーバーのめっき加工から始まり、1980年代には半導体分野にも進出し、エジェクターピン等のめっき加工も手掛けてきました。現在は多品種少量生産への対応を強め、医療機器、充填機器等の新しい分野へ進出し、品質や技術の向上をすすめ、精密クロムめっきを全国的に1個から受注しています。

硬質クロムめっきは様々な特性に優れた工業用めっきで、高い精度が求められます。同社は多品種少量への対応とともに「膜厚1 μ 」、「高電流部のバリ・花咲きのないめっき」、「 ϕ 4mm以上の内径めっき」をキャッチフレーズに高品質のクロムめっきを実現し高い評価を得ています。空気浄化装置や作業水濾過・再利用循環装置などへの投資も積極的で、環境に配慮した都市型工場を実現しています。2011年には「エコアクション21」の認証を取得しました。

電子磁気工業株式会社

所在地：東京都北区浮間 5-6-20

電話：03-5970-8681



1 及川会長(中央)と社員の皆様
2 焼入れ判定器
3 測定風景

戦後、航空機の検査機器として磁気を使った非破壊検査装置を米軍規格で製作し販売しました。その後、鉄道、船舶、自動車、鉄鋼など幅広く使われるようになり、この磁気応用技術を活用して、非破壊検査装置のほかに着磁・脱磁装置、磁気計測・評価装置などを実用化して、業界での地位を築きました。

経済がグローバル化し、電子磁気工業の装置は海外企業や日本企業の海外工場にも広く納入するようになりました。海外の競合メーカーと競いながらも、顧客の要求仕様にきめ細かく応え、機器の精度を高めるとともに、短時間で処理できる機器の開発などにより独自のポジションを築いています。

近年は磁気以外のツールを使った機器の開発にも取り組み、「焼入れ深度計」を開発し販売するとともに、その応用により「ナゲット検査器」の開発にも成功しています。

最近では、検査精度と効率性の向上、検査の見える化などをテーマに機器の開発に取り組んでおり、この業界をリードする存在になっています。

東京セイル株式会社

所在地：東京都北区王子本町 2-5-16

電話：03-3905-0121



1 村田社長(左)と社員の皆様
2 マルチスタンドルーペLED
3 紙オペラグラス

東京セイルは 1977 年の創業以来、様々な商品を企画して世に送り出してきました。角形レンズのオペラグラスやルーペ付きトゲ抜きなどの大ヒット商品やロングセラー商品もあります。角形レンズのオペラグラスは発売以来 1,000 万個以上を出荷しています。

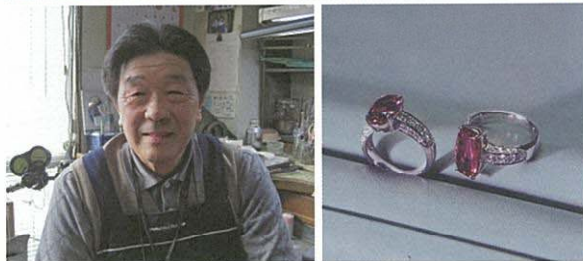
同社は現在、300 アイテム以上の商品を販売しています。以前はギフトに使われる商品が多くありましたが、最近ではインターネット上に「レンズ屋虫めがね」を開店し、ユーザー向けの販売を始めました。ここでは豊富なアイデアを活かした商品を展開しています。横になりながら楽に読書やテレビが観られる「ごろねスコープ」や細かい仕事をする時に便利な「LED ランプ付ルーペ」や「指用レンズ」をはじめ、パソコン用ルーペ、オペラグラスなどがあり、販売を伸ばしています。同社はこれからも、楽しい便利な商品を企画していきたいとしています。



近藤 志能夫

近藤美宝

所在地：東京都北区王子本町 2-19-6 電話：03-3949-4128



近藤志能夫氏は飾り職人が指輪などを細工する姿を見て、自分も作りたいという思いが募り、貴金属や宝飾品の飾り細工の道に入りました。それ以来 37 年に亘って、指輪やペンダントの製作に携わっています。

近藤氏は、指輪の細工では如何に宝石を引き立てるかが大切で、宝石の底の形にあった台座をつくり、見た目に細いが肉厚の、丈夫で目立たない爪にすることを心掛けると言います。依頼を受けた宝飾品はデザイン画やメモから、作り手のイメージやセンスでかたちにしていきますが、宝石が引き立つ高さ、バランスを決めるのも重要で、作り手のセンスや技能が問われるところだとも言います。近藤氏がさらにこだわるのは、指輪の嵌め心地（指当り、馴染み）で、内甲丸（内径の面取りと曲線）の細工には手間を惜しみません。「自分の技能には誇りがあり『誰にも負けたくない』という思いは強い」と語る近藤氏は、この思いのために工夫や精進を続けるとも言います。

佐藤 栄作

第一化学工業株式会社

所在地：東京都北区浮間 5-7-9 電話：03-3966-2476



佐藤栄作氏は硬質クロムめっきを専業とする第一化学工業の工場長を務めています。第一化学工業は「膜厚 1 μ 」、「高電流部のバリ・花咲きのないめっき」、「 ϕ 4 mm以上の内径めっき」をキャッチフリーズに高品質のクロムめっきで定評のある会社です。

硬質クロムめっきは耐摩耗性や離型性、潤滑性に優れた特性のある工業用めっきで、処理条件や精度を厳しく求められます。佐藤氏は同社が一層の高品質化に取り組んだ際、先輩達と共に試行錯誤を重ねながら、高い品質を保証するために前処理方法や治具製作の方法を考案しました。多品種少量生産を看板に掲げる同社には複雑な形状のものや精度の厳しい注文がきます。治具の良し悪しがめっきの品質を左右しますが、佐藤氏は加工する品物の形状や仕様に応じて一品一様の治具を製作します。

佐藤氏は工場長として現場を切盛りし、技能向上のための勉強会を開くなど、後進の指導にもあたっています。

白石 雅信

白石製作所

所在地：東京都北区神谷 1-25-12 電話：03-3911-2587



クリアファイルのような樹脂製の文房具には樹脂同士が貼り合わさった部分があります。この部分は超音波で溶着しています。白石雅信氏が長年にわたって製作している超音波ホーンは超音波を使って樹脂を溶着する機械などに使う共鳴体で、溶着機が発生させた振動振幅を徐々に増幅して、溶着面に振幅と圧力を加えます。

超音波ホーンは、溶着機に取り付けられる部分から先端の溶着面に向かって徐々に細くなるテーパー構造になっており、正確に振動振幅を伝えるには、テーパーをつける位置、テーパーの曲率、寸法の縦横比が要になります。材料によっても伝達は変わります。白石氏はホーン先端部の面積と形状から振動振幅の伝達を考え、これらの兼ね合いを検討して超音波ホーンを設計し製作します。

白石氏の超音波ホーンを設計する技術と加工する技能は、長年の真摯な取り組みにより修得してきました。そしてこれまでの経験と成果を 14 冊のノートにまとめ、後進に伝えています。

遠山 広

ロワンモンターニュ

所在地：東京都北区王子本町 1-15-20 高木ビル 1F 電話：03-3900-7676



遠山広氏は帝国ホテル、ホテルオークラ出身のホテルベーカリーの第一人者達に師事し腕を磨き、フランスのルノートル東京店や大手スーパーのベーカリー部門長などとして新規出店や商品開発の陣頭指揮を執ってきました。遠山氏はこのような経験を基に街中のベーカリーについて考え、「安心・安全で小さな子供が毎日食べられるパン」、「値段勝負ではなく、美味しいパン」をポリシーに、ロワンモンターニュを王子で 2001 年 9 月に開店しました。

ロワンモンターニュでは、タンパク質の少ない国産小麦でも保湿性と甘味を引き出す「白神こだま酵母」を使い、安全な国産小麦を基本に日本人が好むモチリとした食感の食パンやフランスパン、菓子パン、調理パンを販売しています。ギフトにも注目し、飾りパンや乳酸菌を使ったパネトーネなどの賞味期限の長いパンも作っています。このようなパンは、白神こだま酵母と国産小麦に加え、小麦のブレンド、ミキシング、発酵や焼き時間と温度調整などの工夫によって美味しいパンになっています。遠山氏が培ってきた経験と工夫によって、美味しいパンが創作されています。



発行

北区地域振興部産業振興課商工係

〒114-8503 北区王子1-11-1 北とびあ11階
Tel : 03-5390-1235 Fax : 03-5390-1141
HP : <http://www.monozukuri.city.kita.tokyo.jp/>